総合商研株式会社

第49期

決算説明会

2020年9月23日（水）／札幌本社

本資料に記載した意見や予測は、作成日現在における弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではありません。
今後様々な要因によって、実際の業績や結果と異なる可能性があります。

Financial Results Presentation
for the 49th term

INDEX

1 | 第49期連結業績ハイライト

2 | 第49期トピックス

3 | 第50期の見通し・取組み

4 | 参考資料

第49期連結業績ハイライト

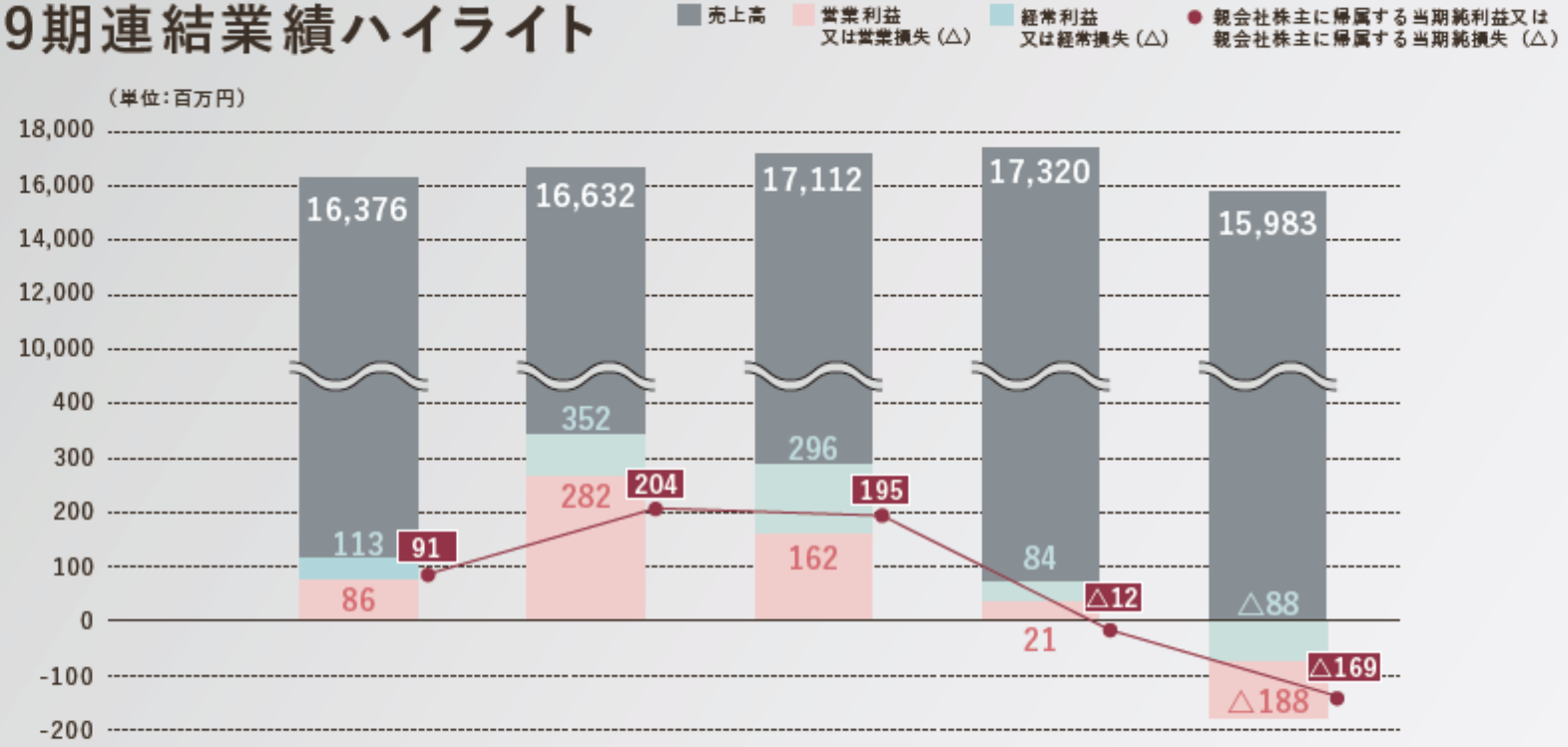
●新型コロナウイルス感染症の影響により、顧客企業の各種イベントの中止や、チラシ・各種広告の自粛等が目立ち、主に商業印刷部門において大幅な収益減少

●利益率の高い年賀状印刷の受注減や、材料費及び人件費の増加等により減益

（単位：百万円）

	第48期	第49期	増 減	増減率
売上高	17,320	15,983	△1,337	△7.7%
営業利益又は営業損失（△）	21	△188	△210	－
経常利益又は経常損失（△）	84	△88	△172	－
親会社株主に帰属する当期純損失（△）	△12	△169	△157	－

第49期連結業績ハイライト



（単位：百万円）

	第45期	第46期	第47期	第48期	第49期
売上高	16,376	16,632	17,112	17,320	15,983
営業利益又は営業損失（△）	86	282	162	21	△188
経常利益又は経常損失（△）	113	352	296	84	△88
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	91	204	195	△12	△169

TOPIX①

新白石工場が竣工

かねてより建替えを行っていました白石工場は、2020年6月に竣工いたしました。

当工場は、2000年12月より年賀状印刷工場として、北海道から沖縄まで、全国の流通店舗などから年賀状印刷のご注文をいただき、年賀状印刷を承っておりましたが、築47年を経過し、老朽化が著しく、施設の維持が困難となっていました。

今回の建替えを経て、顧客からお預かりする個人情報保護のため、様々な情報管理・セキュリティ対策を強化した施設となりました。

新工場では、顧客のニーズに対応する生産体制を構築し、最新設備の導入と作業効率の推進により、生産性の向上を図っております。

TOPIX②

ＢＰＯ事業の展開

年賀状事業のノウハウを活用し、コールセンターサービスやデータエントリーサービス等のＢＰＯ（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）事業の展開など、新たな事業領域にも取り組みました。

部内では作業の共有・マルチ化を進め、流動的な人員配置を実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症対策の一つとして、当社札幌サイン工場で制作した「飛沫感染防止パーティション」を社内に設置したほか、当社発行「地域新聞ふりっぱー」の紙面等にて販売をし、好評をいただいております。

TOPIX③

地域BWAシステム(※1)の無線局が拡大

当社は2019年9月27日に「地域広域帯移動無線アクセス(地域BWA:Broadband Wireless Access)システム」の無線局免許を北海道総合通信局より取得いたしました(以下、地域BWAシステム)。

当社が取得した地域BWAの免許は札幌市内全区を対象とし、無線局は当初の79局から164局に拡大。2020年3月には全10区の防災拠点で公共サービスの提供を開始し、引き続き一般向けのWi-Fiサービス開始に向けて準備を進めて参ります。

※1. 地域BWAシステムとは、2.5GHz帯の周波数の電波を使用し、地域の公共サービスの向上やデジタル・ディバイド(条件不利地域)の解消等、地域の公共の福祉の増進に寄与することを目的とした電気通信業務用の無線システムです。

TOPIX④

地方自治体/企業との連携を通じた物販事業の展開

当社は、官民連携の「ほっかいどう応援団会議」のメンバーとなり、当社が発行する「地域新聞ふりっぱー」と北海道発掘マガジン「JP01」の媒体力・ネットワークを活かして、地方の自治体や企業のニーズに応える物販事業を開始いたしました。

「地域新聞ふりっぱー」では2020年7月号から道産食品のお取り寄せ特集「北海道を食べて応援!」の掲載を開始。コロナ禍でのイベント中止・土産需要の激減等で販路を失った地方産品と、道産品志向が強く、『北海道を応援したい』札幌市民をつなぐことで、生産者と消費者の新たな接点の構築を目指しています。

北海道発掘マガジン「JP01」が創刊以来積み重ねてきた地方の逸品情報と、市内80万世帯に宅配される「地域新聞ふりっぱー」の到達力。当社は引き続き2つの自社媒体の強みを生かした情報発信により、地域への貢献に努めて参ります。

第50期連結業績予想

（単位：百万円）

	第49期	第50期	増 減	増減率
売上高	15,983	16,000	16	0.1%
営業利益又は営業損失（△）	△188	150	338	－
経常利益又は経常損失（△）	△88	200	288	－
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	△169	145	314	－

第50期の取組み

組織の見直しによる営業力の強化

- 分散・重複している機能や営業力を集約し、営業活動の横断的な展開をするための組織づくり
- 北海道商印営業部と地域メディア部を営業部に統合
- 年賀事業本部の新設及び関連組織を同本部内に集約

コスト削減による収益性の向上

- 自社リソースを確保し、外注業務の削減・内製化
- 印刷作業工程の見直しや、AIソリューションの開発による作業工程のオートメーション化
- 不採算部門・事業の見直し

新たな事業領域の拡大

- 近年需要の増すＢＰＯ事業の強化
- 当社のメディアを活かした地方自治体／企業との連携を通じた物販事業の展開
- 地域ＢＷＡ事業の本格始動

人材の確保・育成

- 社員のワークライフバランスを重視した体制作り
- 繁閑期の異なる年賀印刷事業やBPO事業といった複数の部門においても、マルチに対応できる人財の育成
- 専門人財を確保するため、既存の方法にとらわれない積極的な採用活動

参 考 資 料

【参考資料】

連結損益計算書

（単位：百万円）

	第47期	第48期	第49期	対前期増減
売上高	17,112	17,320	15,983	△1,337
営業利益又は営業損失（△）	162	21	△188	△210
経常利益又は経常損失（△）	296	84	△88	△172
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	195	△12	△169	△157

【参考資料】

連結貸借対照表

（単位：百万円）

	第48期	第49期	増減
現金及び預金	1,232	1,602	370
その他	2,699	2,207	△491
流動資産合計	3,931	3,810	△120
有形固定資産	3,455	4,173	717
その他	1,478	1,564	86
固定資産合計	4,934	5,737	803
繰延資産合計	4	2	△2
資産合計	8,870	9,550	680

	第48期	第49期	増減
流動負債	3,875	4,155	279
固定負債	2,712	3,305	593
負債合計	6,587	7,460	873
資本金	411	411	－
利益剰余金	1,212	982	△229
その他	658	695	37
純資産合計	2,282	2,089	△192
負債純資産合計	8,870	9,550	680

【参考資料】

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	第48期	第49期	増　減
営業活動によるキャッシュ・フロー	264	723	458
投資活動によるキャッシュ・フロー	△605	△1,163	△557
財務活動によるキャッシュ・フロー	525	810	284
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額	184	370	185
現金及び現金同等物の期首残高	1,047	1,232	184
現金及び現金同等物の期末残高	1,232	1,602	370

【参考資料】

損益計算書(個別)

(単位:百万円)

	第47期	第48期	第49期	対前期増減
売上高	16,790	17,016	15,694	△1,321
営業利益又は営業損失(△)	136	△3	△200	△197
経常利益又は経常損失(△)	277	68	△97	△165
当期純利益又は当期純損失(△)	179	19	△171	△190

【参考資料】

貸借対照表(個別)

(単位:百万円)

	第48期	第49期	増減
現金及び預金	1,159	1,429	269
その他	2,662	2,170	△492
流動資産合計	3,822	3,599	△222
有形固定資産	3,452	4,171	719
その他	1,556	1,625	69
固定資産合計	5,008	5,797	789
繰延資産合計	4	2	△2
資産合計	8,835	9,399	564

	第48期	第49期	増減
流動負債	3,849	4,125	276
固定負債	2,713	3,194	481
負債合計	6,562	7,319	757
資本金	411	411	−
利益剰余金	1,202	971	△231
その他	658	696	37
純資産合計	2,272	2,079	△193
負債純資産合計	8,835	9,399	564